



# かけはし



菜の花と鳥海山（鳥海 桃野）

## ありがとう

お葬式を無事に終え、お客様からいただく「ありがとう」の言葉は、サービスに携わる者として最高の喜びです。

「ありがとう」の語源は仏教に由来するもので、輪廻転生する中で人間として生まれ、仏法に巡りあうことが奇跡的なことで、まさに「有り難し」なのだそうです。

寝たきりだった私の祖母は、自宅で介護され、最期も家族に見守られながら旅立って逝きました。その祖母の口癖は「ありがとう」でした。人生の円熟は仏の心に近づくものなのでしょう。自分達もそういう人生でありたいものだと思います。

「ありがとう」の反対語は「当たり前」だそうです。「当たり前」からは何の感謝も感動も生まれません。もし、他人から「ありがとう」を望むのなら、まず自分から感謝の気持ちを込め「ありがとう」と言うことではないでしょうか。そんな感謝の気持ち広がる世の中になったらどんなに素敵なことでしょう。

JAゆり葬祭センターも日本一「ありがとう」と言われる葬儀社を目指し、日々業務を行ってまいります。



# この人に聞く

第3回

第19代神主  
鳥前永夫氏  
(由利本荘市赤田)

葬儀は大きく分けて、「仏式」と「神式」に分かれます。参列したら神式のご葬儀で作法に戸惑われた方も多いと思います。今回は「神式」の葬儀について、仏式との違い等、お話をお伺いしました。

## 当

社では約1割の方が神道での葬儀ですが、信者はどちらの地域が多いのでしょうか。

「仏式でいう檀家を神道では神徒といいますが、神徒が多いのは、大内、鳥海、由利です。もともと神社は氏子のものであり、神徒と同じ

ではありません。」

## 仏

教との違いなどを教えてください。

「古代より、葬儀について確立したものはなく、その地域に根ざした風習によって執り行われてきました。

奈良時代に仏教が伝来してからは、葬儀は概ね仏教で行われるようになりました。その後、神道は、明治政府によって中央集権国家を目的に天皇を中心とした国家神道として確立しました。その結果、祭りやお祓いは神道が受け持ち、葬儀は仏教が執り行うようになりました。

しかし、第2次世界大戦後、GHQの指導で神道は1つの宗教法人になり、そのことによって、神道での葬儀や神徒が復活したのです。

## 「お祓いや祝詞奏上の間、

## 軽く頭を下げることは神道のマナーです」

神道では、死後の名前として氏名の後に亡くなった年齢により、若子・童子・童女・大人・刀自・大刀自を付け加え、御霊璽(神道で使う位牌)に書きます。

神道では、人はみな神の子であり、この世に生まれ、この世での役目を終えたとその家の神になるとしています。神葬祭とは、家の守護神になってもらうための儀式です。

忌服とは、神社にお参りできない期間をいいます。同一家族である夫・妻・父・母・子の場合50日。祖父母・兄弟姉妹は30日。孫・曾祖父母や他の親族は20日としています。

仏式でいう初七日に当るのが十日祭。49日は五十日祭です。五十日祭をもって忌明けとします。

謝礼の熨斗袋の表書きは、「御玉串料」か「御礼」にします。玉串とは、榊の枝に紙垂をつけたもので、参拝者や神職が神前に捧げ

るものです。玉串料は、この玉串の代わりに納める金銭のことをいいます。神職への御礼として「御初穂料」おはつほりょうもあります。初穂はつほとは、その年の最初に収穫された稲等の農作物を意味しています。お祝いの儀式・厄払い・地鎮祭の表書きは「御初穂料」としますが、葬儀では用いません。また、参列する場合の表書きは、「玉串料」か「御霊前」とします。

参列する際の作法として、仏式での焼香に当るのが玉串奉奠たまぐしほうてん（6ページにやり方を解説しています）です。正式なやり方以外に簡略化した水玉串。もしくは、葉玉串というやり方があります。神前に榊の葉と水の入った容器が用意されている場合は、榊の葉を軽く水に付け、お盆に供えるか、そのまま水に浮かべます。その後、二礼二拝一礼します。

また、式の最初にお供え物や参列者を大幣おおぬぎでお祓いする時や神職が祝詞奏上のりとせうじょうの間、軽く頭を下げることは神道のマナーです。意外に知らない人が多いですね。」

## 「各地のお祭りに出向き、

## 様々な人との出会いが

## 何より楽しみです」

**サ** ラリーマンを早期退職されたとお伺いしました。

「父が高齢により祭式が難しくなったため、神職とラリーマンを兼務し、祭りを土曜・日曜に変更していただいたり、有給休暇で奉仕してまいりましたが、遠方への転勤を命ぜられ、やむなく55歳で早期退職しました。

サラリーマンを辞めると、毎日が日曜日と思っていました。なかなか暇はありませんね。それでも、それまでは朝早く家を出て夜遅く帰る毎日、地域の人と顔を合やすことが稀でした。今では、各地の祭りに出向き、様々な人との出会いが何より楽しみです。

また、農業も始めました。3畝の田んぼは、委託耕作していましたが、契約の更新時期であったことや健康のためを考え、自分でやってみることにしました。育苗の共同作業に加え、農業機械も共同で購入しました。機械のオペレーター経験はありましたが、栽培管

理のことはさっぱりわからず、近所の方の作業を見て『今、何をやっているのですか。』と尋ねる毎日です。

毎年、1度も同じ天候は無いので難しいですが、作物を育てることに生きがいを感じながら仕事をしています。」

神道は、五穀豊穡の祈願に始まり、秋は収穫に感謝するなど、農業と密接なつながりがあります。益々ご健康で活躍されますことをお祈りいたします。



由利本荘市  
赤田字蓮池 122  
☎ 20184-1  
22-11972

## 映画

# 『エンディングノート』

## 上映会&終活セミナー 開催しました

当社、「虹のホールゆり」で2月23日、映画「エンディングノート」上映会&終活セミナーを開催したところ、70名の方にご参加いただきました。

上映した映画は、熱血営業マンとして働き続け67歳で退職したサラリーマンが、第2の人生を歩み始めた矢先にガンの宣告を受け、残された家族と自分の人生を総括するために「エンディングノート」を実行してゆく姿を収めたドキュメンタリーです。

エンディングノートとは、最後の覚え書きのこと。自分の人生の記録や残された家族に伝えたい事柄などを書き記したノートのことです。遺言とは異なり、法的効力を有するものではなく、存命中や死後の家族の負担を減らすことを目的としています。

最後の日まで前向きに生きようとする父と家族の姿を映像に記録。重

いテーマながら「段取り命」で会社人生を送った主人公らしい幕引きが大きな感動を呼びました。

上映後は、終活セミナーとして「エンディングノート書き方講座」を行いました。エンディングノートは、テレビ等で多くの方がご存知のようでしたが、もしも、自分に何かあった場合、家族に伝える手段として、気負わずノートに書いてみることをお勧めしています。当社にて1冊500円で販売しておりますのでご利用ください。



参加者からいただいた、映画とセミナーの感想をご紹介します。

「とっても感動しました。はじめは重いテーマなので参加するのを少し躊躇しましたが、登壇する人たちがとても明るく、これが実話なのかと驚きました。あのように送り、送られたらいいなと思いました。そのために自分のエンディングを考えておくべきだと思いました。」

「旅立ちの準備に関心を持つようになった。」

「自分の近い将来への指針や暗示を受けた気がした。必ず来る自分の死後の希望や遺族への思いは生前に伝えておいた方が良かったら。」

「主人公の死に方（生き方）がすばらしいと思った。なかなかあのようになれる方はいないと思うが、自分も少しずつ準備していこうと思います。」

「私の母も肝臓ガンで亡くなったので病状等が似ていましたが、今回の映画の方のように出歩くことはできず、2年くらい家でゆっくり過ごして

て、病院で1年ほど過ごしました。その間に自分の葬式に呼んでほしい人などを言っていたので助かりましたが、エンディングノートがあれば、より良かったと思います。」

「私の夫は61歳で亡くなりました。当時は、ガンであることを知らせることができませんでした。今はただそのことだけが心残りです。現在は医者が本人に病気を告げるということでも良いことだと思います。」

「死ぬことは必ず来るものなのに、考えさせられた。今日1日だけでなく、日頃から近くの人々に優しさをもって接していかなければ、最後は1人寂しく死んでいくのかと思いました。」

「死に方。新たな旅立ち。悲しいものではないことを今、学習できて本当に良かったです。」

多くの方々より、参加して良かったとの回答をいただきました。次回は相続に関するセミナーを開催する予定です。



# 精霊棚について



由利地域では、前年のお盆以降にご家族が亡くなり、新しく迎えるお盆を「初棚」と称して「精霊棚」をお飾りし、故人の霊をお迎えする風習があります。宗派や地域によっても飾らないところもありますが、大内地区では、亡くなった人がいなくても毎年飾って先祖をお迎えするようです。

飾り方の一例としてイラストで示しますが、この通りでなくてもかまいません。季節の野菜や故人の好物をお供えします。また、「施餓鬼幡」を下げることは供養の一つです。菩提寺からいただくこともありますので、お尋ねするとよいでしょう。

初棚の家では、玄関の軒先などにワラで作った「精霊馬」を下げる地域もあります。

お飾りとしてキュウリで作った馬やナスで作った牛をお供えしますが、これは、先祖様達が、帰って来る時は馬に乗って早く、帰りは牛でゆっくりという願いを表したものです。

初棚の場合、お盆の期間に依頼しなくても菩提寺が供養のためにお見えになりますので、ご焼香と御布施を準備しましょう。また、親戚縁者も14日～15日に御仏前を持参し、訪問する習わしがありますので、返礼

品の用意が必要となります。返礼品には、「そうめん」などを選ぶ方が多いようです。用意する数には、ご葬儀にお招きした親戚縁者の数に予備を加えた程度でよいでしょう。

## 精霊棚の飾り方 (参考)



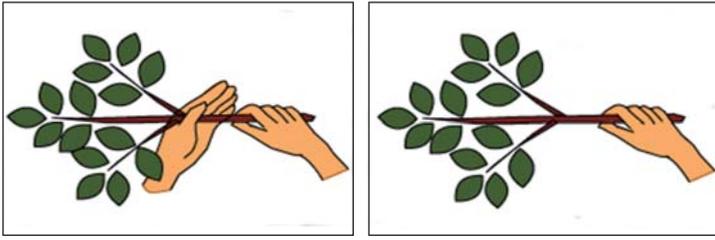
当社でご葬儀を行われたお客様には、精霊棚の販売・貸出、精霊馬、施餓鬼幡、返礼品等のご案内を、後日お送りいたします。ご不明な点がございましたら、お問合わせください。(フリーダイヤル 0120-2468-08)

知っておきたい  
基礎知識 その2

「玉串奉奠」  
たまぐしほうてん

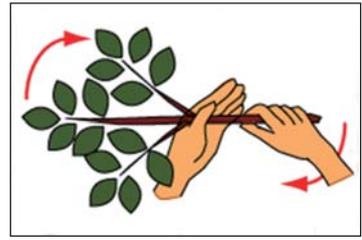
神式葬儀では焼香の代わりに玉串を奉納します。

①神職から玉串を受け取る時は、右手で木の根元をもち、左手を下から添えます。(会釈しながら受け取ると丁寧になります)

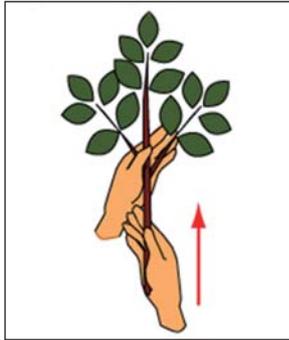


②祭壇の前に進み、姿勢を直し、一礼します。

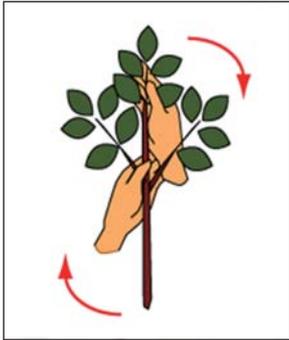
③玉串を右に回転させ、手前に根本をもつてきます。



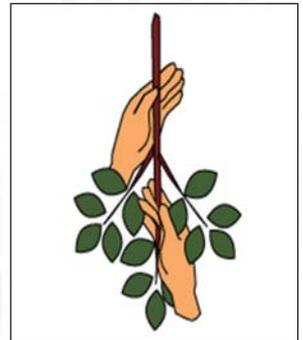
④玉串が縦の向きになったら、右手だけを図の方向に回します。



⑤右手を右方向に動かし、玉串を再び回転させ、根元を祭壇の方に向けます。



⑥玉串を祭壇に捧げます。



⑦1歩下って、もつ1度姿勢を正します。

⑧二拝二拍手一拝の作法で拝礼を行います。

・2回、90度の礼をします。

・胸の前で2回、しのび手をします

・最後に1度、1回、90度の礼をします。

⑨もとの位置に戻ります。

※しのび手とは、拍手と異なり音をたてずに手のひらを静かに合わせることを言います。音をたてないように注意してください。



「くちコミくらぶ」知りたい講座 事務局 “便利・わかりやすい冠婚葬祭マナー&ビジネス知識”  
<http://www.jp-guide.net/manner/ta/tamagushi.html>, (参照2013-5-10)

当社からの情報はホームページをご利用下さい

ゆり葬祭

検索

当サイトはスマートフォンでもご覧いただけます。



上記のQRコードを読み込んで頂くか、<http://www.yuri-sousai.jp>へアクセスしてください。

花環・盛篋・生花のご注文

ジェイエイゆり葬祭センター

年中無休 24時間対応  
0120-2468-08

よくあるご質問 | 葬手続き便利帳 | お葬式のマナー | 会社概要

[ご葬儀プラン](#) | [ご法要プラン](#) | [お客様の声](#) | [ご葬儀の流れ](#) | [虹のホールゆり施設ご案内](#) | [仏具ご紹介](#)

---

葬儀儀式のすべてをおまかせください。

(株)ジェイエイゆり葬祭センターは365日24時間体制で対応しております。ご自宅・ご寺院での葬儀などどんな規模でも安心しておまかせください。

年中無休 24時間対応  
0120-2468-08

**葬儀式場**

厳かな式をまごころのサービスで演出し、温もりの伝わるご葬儀をとり行ないます。



● **施設ご利用のご案内**

平成18年12月にオープンした「虹のホールゆり」は、皆様に支えられて今年で7年目を迎えました。式場の収容人数は120名・最大250名で、各宗教・宗派に対応いたします。ご遺体の安置からご葬儀および会食まで、すべてに対応できる施設となっております。また、忌明け法要から年忌法要までご利用いただけます。「温もりあふれる心のセレモニー」をモットーにお客様の不安な気持ちを和らげるよう、専門のスタッフが費用の相談や式の進行をサポートいたします。

**ホールご利用のご案内**

**虹のホール ゆり**

**施設概要**

葬儀式場	120名
会食室	70名
遺族・親族控室 (法要・安置も可)	2室 (キッチン・浴室付)
導師・神官控室	1室
多目的化粧室	1室
駐車場	60台

- 思い出の映像を作っていただき感激しました。
- 暑い日だったので助かりました。
- 設備が整っていて安心して任せることができました。
- 手伝いをお願いするのも大変な時代なのでこうした施設はありがたい。
- 介護に疲れていましたが、スタッフの方々の配慮に感謝いたします。
- 身寄りのない親戚の葬儀に使わせていただきました。

**ホールを  
ご利用された  
お客様の声**



ロビー

広い空間で、ご会葬の皆様にリラックスしていただけます。

● **安心してご利用いただくために  
ご相談・ご見学をお受けして  
おります**  
式場や安置室の見学、ご葬儀の流れ・ご予算などを事前に検討しておくこと、安心に繋がります。随時お受けしておりますので、虹のホールゆりへお気軽にお越しください。



遺族・親族控室・法要室

ご遺族やご親族の方々のために、お通夜当日からご利用いただける、遺族・親族控室を完備しております。少しでも負担をご軽減するために必要な設備を整えました。ご遺族の仮眠も可能です。

**クリンリネス・コンテスト  
最優秀賞を2年連続受賞**

県内のJA葬祭グループにより、17ホールを施設内外の整理整頓、癒しの空間づくり、スタッフの接客態度を審査した結果、昨年に続き、2度目の最優秀賞を受賞しました。



浴室



キッチン

# お客様の声

全く葬儀のことがわからず不安でしたが、とても丁寧な段取りよく進めて頂き、無事終えることができました。何度も何度も家に足を運んでもらい、こちらの不安や解らない事をその都度解消して頂き、安心してお任せできました事を感謝しております。本当にありがとうございます。<br><M様>

何でも相談出来て、とても気が楽でした。このように終わったことに感謝しています。ありがとうございました。<br><S様>

虹のホールでの葬儀をお願いしたところ、とても丁寧な対応でよかったです。ホール内も隅々まできれいにされており気持ちよく安心して祖父を送ることができました。ありがとうございました。<br><I様>



## JA葬祭みどりの会

### 会員募集中

入会金1万円で終身会員となり、ご家族（同居）  
どなた様でも特典をご利用いただけます。

お問い合わせ・申し込み

（株）ジェイエイゆり葬祭センター  
又はお近くのJAへ！

## 編集 後記



「終活セミナー」という、流行の言葉を使うには、少しためらいましたが、受け入れていただき、安心しました。「終活」とは、決して「死」を軽視するものではありません。人生には終わりがあることを自覚した上で、昨日までの人生を振り返り、「これからの人生をどう生きていくか」を見直すことだと思います。エンディングノートには、「痴呆になったときのこと」や「どんな葬儀を望むか」など、書きづらいテーマもありますが、「自分が子供だった頃のこと」や「配偶者に出会った頃のこと」、「家族との思い出」を書くところもあり、こうした内容は、家族へのプレゼントになるでしょう。そして「これからやってみたいこと」をリストアップし、充実した人生を送っていただきたいと思えます。

映画「エンディングノート」を観て、「生きる力」のエネルギーは、「家族」の存在であると感じました。

産んでくれてありがとう。出会うことができてありがとう。



### （株）ジェイエイゆり葬祭センター

本店 / 〒015-0852 由利本荘市一番堰200-1

0120-2468-08

☎ 27-1718 FAX 27-1715

メールアドレス: jayurisousai@clock.ocn.ne.jp

### JA葬祭 虹のホールゆり

由利本荘市川口字八幡前41-1

☎ 23-7716 FAX 23-7717

### 仁賀保営業所

にかほ市平沢字宮田37-1

☎ 62-8171 FAX 62-8172

年中無休・24時間受付